

令和6年度鞍手町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本町の全耕地面積は731haであり、土地利用型農業においては、水稻の他、麦・大豆を担い手の経営を支える重要品目と位置付け生産拡大を図っている。また、イチゴ、春菊、ブロッコリーなど、水田における作付は多岐に渡り、収益性の高い園芸農業も展開されている。

一方、気象条件や生産体制の各条件等により、水稻では高温湿害による品質の低下、麦・大豆では排水対策の問題などから単収のばらつきが課題となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

農産物直売所やJA等の関係機関と連携を図り、地域の現状や課題を踏まえながら、主食用米以外の作物への転換を目指す。また、需要に応じた高収益作物等の生産拡大につながる新技術や新品種の導入等に向けた取組みを推進していく。

また、水田の収益力強化にあたっては、JA等関係機関と連携しながら水田農業高収益化推進計画に基づき、需要に応じた高収益作物等の生産拡大を図っていく。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

生産者から毎年提出される営農計画書により作付の予定や生産者の意向等を把握し、水田の作付状況の現地確認を行うことで、水田の利用状況の点検を行う。令和6年度には4件の生産者が畑地化促進事業を活用することとしており、今後も地域の実情に応じた水田の有効活用について検討していく。

また、水田として輪作体系に子実用とうもろこしを導入することで、労働生産性の向上に努める。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

適地作付を基本とした良食味品種の作付拡大や実需者の使用用途に応じた作付誘導により、消費者・実需者から望まれる米づくりを推進する。また、高温対策等については、関係機関との連携を図り品種転換などを視野に入れ、より一層の品質向上を図る。

ア 飼料用米

需要確保に努め、多収性品種の導入等による収量向上を図るとともに、地域での団地化を進め生産コストの低減を図る。

イ 加工用米

主食用米と同じ機械、施設で取り組める転作作物として水田機能維持のうえからも取組を行っていく。

(2) 麦、大豆、飼料作物

麦については、実需者と連携して需要拡大を促進しつつ、需要に応じた品種別作付を誘導するとともに、産地交付金を活用して担い手を中心に作付面積の拡大を図る。

大豆については、産地交付金による作付支援を行いながら担い手を中心に作付面積を拡大するとともに、適期作業の徹底、排水対策による湿害回避、土壌改良剤の投入による地力の向上等の取組みにより収量向上を目指す。

また、麦、大豆の二毛作については産地交付金による作付支援を行い、地域の生産性の向上を図る。

(3) 高収益作物

産地交付金による作付支援を行いながら作付面積の維持を図り、特に従来から産地化を図ってきた作物（ブロッコリー、キャベツ、いちご）について生産の拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の 作付予定面積等		令和8年度の 作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	384.1		380.9		383.7	
備蓄米	2.8					
飼料用米	43.6		42.3		46.9	
加工用米			1.2		1.2	
麦	284.2	86.4	292.1	91.1	284	88.5
大豆	142.1	129.7	156.5	144.0	145.4	133.7
飼料作物	9.7		7.5			
・子実用とうもろこし	9.7		7.5			
高収益作物	44.9	22.4	38.3	15.6	49.9	20.3
・野菜	41.1	22.4	34.5	15.6	45.0	20.3
・花き・花木	0.2		0.2		0.4	
・果樹	3.6		3.6		4.5	
その他						
・景観形成水田等	9.7	1.0	9.3	0.8	4.3	
畑地化	7.2	0.5	7.7	0.7	8.2	0.7

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		前年度（実績） （令和5年度）	目標値 （令和8年度）
1	麦・大豆	麦・大豆（担い手）加算 （基幹）（年度末払）	担い手の育成	麦・大豆作付面積	202.3 ha	207.0 ha
2	麦	麦加算（二毛作）（年 末払）	水田の高度利用	麦二毛作面積	86.3 ha	90.0 ha
				麦二毛作作付率	12.1 %	13.0 %
3	麦	麦加算（二毛作）（年 度末払）	水田の高度利用	麦二毛作面積	86.3 ha	90.0 ha
				麦二毛作作付率	12.1 %	13.0 %
4	大豆	大豆加算（二毛作） （年末払）	水田の高度利用	大豆二毛作面積	129.0 ha	143.0 ha
				大豆二毛作作付率	18.1 %	19.4 %
5	大豆	大豆加算（二毛作） （年度末払）	水田の高度利用	大豆二毛作面積	129.0 ha	143.0 ha
				大豆二毛作作付率	18.1 %	19.4 %
6	麦・大豆	麦・大豆助成（基幹） （年度末払）	生産性の向上	麦作付面積	195.9 ha	207.0 ha
				麦平均収量	378.7 kg/10a	390.0 kg/10a
				大豆作付面積	12.0 ha	15.0 ha
				大豆平均収量	134.6 kg/10a	134.6 kg/10a
7	野菜・花き	野菜・花き助成（基 幹）（年度末払）	生産性の向上	作付面積（野菜）	13.4 ha	15.0 ha
				作付面積（花き）	0.06 ha	0.1 ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。